

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 JFEサンソセンター 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

圧縮ガス・液化ガス製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量[kNm³/年]

温室効果ガスの種類	原単位 (a) 基準 年度 原単位	目標年度 原単位 (b) 上段：原単 位削減率 (c) 下段：削減	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e)) 計画期 間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013) 平成25 年度 (2013)	令和12年度 (2030) 令和12年度 (2030)	令和1年度 (2019) 令和1年 度 (2019)	令和2年度 (2020) 令和2 年度 (2020)	令和3年度 (2021) 令和3年 度 (2021)	令和4年度 (2022) 令和4年 度 (2022)	令和5年度 (2023) 令和5年 度 (2023)
起源CO ₂ エネルギー	0.197	0.165	0.178	0.156	0.184	0.146	0.142
起源CO ₂ 非エネルギー		16.6	10.0	20.9	6.5	25.9	28.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量総計 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算k1)	67.2	56.1	68.75	67.19	73.07	66.97	65.46
		16.6	-2.3	0.0	-8.7	0.3	2.6
実績に対する 自己評価	当社はJFEスチール(株)から買電をしており、その内訳が中国電力(株)と瀬戸内共同火力(株)である。 当社で購入電力の内訳を決めることが出来ず、瀬戸内共同火力(株)のCO2排出係数は中国電力(株)の約1.6倍 であることから原単位にばらつきが生じている。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電力原単位 対前年度比 1 %削減	高効率設備（空気分離装置）の新設・稼働 高効率液化装置の運転 製造装置の最適組み合わせ運転 冷暖房温度の適正管理
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。